

体外受精による妊娠と胚の関係



統計によると、一回の体外受精による妊娠の成功率は約35%です。25～30代前半の自然妊娠の確率は25～30%といわれています。

体外受精による妊娠の成功率が今日でも40～50%を超えない理由の一つは、女性の年齢と卵子や胚の関係にあります。

女性がどんなに健康でも、卵子の数は35～37歳を境に急激に減少していき、齢を重ねるごとに、卵子が妊娠しにくい状態になっていきます。

卵子と同様に、胚も35歳を過ぎると正常ではないパーセンテージが上がっていきます。

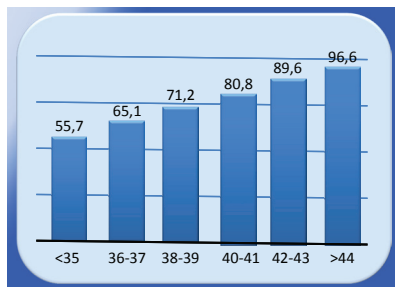
体外受精の受精卵は体外で培養し、分割胚または胚盤胞まで发育させて子宮に戻します。胚に異常が発生した場合、通常、自然妊娠では自然淘汰されて妊娠が成立しにくくなります。そのため体外受精では2個以上の胚を子宮に戻して妊娠できるチャンスを高めることもあります。

図は、年齢ごとに受精卵を観察し、正常ではない胚が発生したパーセンテージを示しています。胚異常の主な原因は、染色体数の異変や遺伝性の問題です。35歳頃では55.7%ですが、その後急速にパーセンテージは上がり、44歳以上では96.6%にまで達しています。

胚が正常に发育すれば、体外受精の妊娠率は20代から47歳まで大きな差はないという統計が出ています。しかし、胚異常の発生率は年齢が上がることに高まり、それが体外受精の妊娠率を下げる要因にもなっています。

今はまだ広く普及していませんが、今後は胚の異変を診断できる検査も医療現場で導入されていく見通しです。

＊フェルチクリンの中野英二医師に解説いただきました。



【図】年齢ごとの正常ではない胚の発生率

フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista - São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

www.ferticlin.com.br / ferticlin@ferticlin.com.br



不妊治療

体外受精 Fertilização In Vitro

卵子凍結保存 Congelamento de Óvulos

人工授精 Inseminação Artificial

精管切除後の治療 Vasectomizados



FERTICLIN
Clínica de Fertilidade

中野英二院長 不妊症専門医

DR RAUL NAKANO CRM 46.514
Especialista em Reprodução Humana

Av. Indianópolis, 1960 - São Paulo - SP

(11) **5581-2045** www.ferticlin.com.br